

形式意味論ノート

H.F.U. Nakura

最終更新: 2022 年 5 月 3 日

目次

第 1 章	動的意味論 / Dynamic Semantics	2
1.1	Stalnaker's idea	2
第 2 章	疑問文の意味論 / Question Semantics	3
2.1	選択的制限 selection restrictions	3
2.2	いくつかのアプローチ	4
参考文献		6

第 1 章

動的意味論 / Dynamic Semantics

1.1 Stalnaker's idea

1.1.1 Presupposition-free explanation

Stalnaker の意味論に関する仮定は次の四つである (参考:[Heim, 1992])。

- 文 (LF) の意味は文脈変化力 (Context Change Potential; CCP) である。
- CCP は文脈 (可能世界の集合) 上の関数 $\varphi : \mathcal{P}(W) \rightarrow \mathcal{P}(W)$ である。
- 前提は、CCP が $\mathcal{P}(W)$ に対して defined であることの条件として定式化される。
- 前提投射は CCP がボトムアップに合成されることの副産物として予測される。

ある文 S の CCP を φ としよう。 φ は、 S が発話された時点での文脈 c を引数として、 S が発話された後の文脈 c' を返す。 変化後の文脈である c' は、 c と、 S が真であるような可能世界の集合 W_S との共通部分 (intersection) である。 $\llbracket \cdot \rrbracket$ を、 LF から CCP への関数 (解釈関数) とすると、 以上の記述は次のように表現できる。

(1)

任意の文脈 c について,
 $\llbracket S \rrbracket(c) = c \cap W_S$
 ただし $W_S = \{w \mid w \models S\}$.

1.1.2 On presupposing

上述の枠組みで、前提は CCP が defined な関数であることの条件として定式化される。このことを組み入れた形で上の定義を言い直すと次のようになる。

第 2 章

疑問文の意味論 / Question Semantics

2.1 選択的制限 selection restrictions

節埋め込み述語は、それがどのような文を埋め込むことができるかという観点から三つに分類される。

- 応答的述語 Responsive predicates: 平叙文と疑問文のどちらも埋め込むことのできる述語 (e.g. know, be certain, care)
- Rogative predicates: 疑問文のみを埋め込むことができる述語 (e.g. wonder)
- Anti-rogative predicates: 平叙文のみを埋め込むことができる述語 (e.g. believe, hope)

意味論の課題の一つは、これらのバリエーションが存在することの説明である。また、真に説明的な理論は、「どのような述語がどのような補文パターンをとるか」を予測するような理論でなければならない。後者の課題についての挑戦は [Theiler et al., 2019, Mayr, 2019] など。これらの研究では、「neg-raising predicates は anti-rogative である」ことが示されている。

2.1.1 説明すべきもの

節埋め込み述語に上述のバリエーションがあることを説明すること自体は簡単である。例えば、各述語の語彙項目に、その述語がどのような文であれば埋め込み可能かの情報をエンコードすれば良い。しかし、そのやり方では似たような意味の述語は似たような補文パターンをとることが通言語的に観察されるということを説明することができない。例えば *know* のような意味を持つ Rogative predicate が想像し難いことが説明できないのである。

■**選択的制限はなぜ意味論の問題になるか** 上述の通り、述語の補文パターンと述語の意味には少なからず関係があるように思われ、このことから、述語の補文パターンは述語の語彙的意味の基づいて説明すべきという考えが支持される。

2.2 いくつかのアプローチ

節埋め込み述語の選択的制限に対する解決策は、疑問文の意味論のそれぞれの立場から、それぞれ異なる解決策が提示されている。

変更ログ

2022-05-02 17:30:43 +0900 hfunakura Stalnaker のアイデアについて、仮定されていることは何かを明らかにし、CCP とは大枠どのようなものでどのようなものであるかを記述

2022-05-02 16:58:31 +0900 haraheri-inu Initial commit

参考文献

- [Heim, 1992] Heim, I. (1992). Presupposition projection and the semantics of attitude verbs. *Journal of semantics*, 9(3):183–221.
- [Mayr, 2019] Mayr, C. (2019). Triviality and interrogative embedding: context sensitivity, factivity, and neg-raising. *Natural Language Semantics*, 27(3):227–278.
- [Theiler et al., 2019] Theiler, N., Roelofsen, F., and Aloni, M. (2019). Picky predicates: Why believe doesn’t like interrogative complements, and other puzzles. *Natural Language Semantics*, 27(2):95–134.